

第18回世界自閉症啓発デー（令和7年4月2日）に寄せて

毎年4月2日は、平成19年12月に国連が制定した「世界自閉症啓発デー」で、本年で18回目を迎えます。わが国では4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」として社会全体での理解促進に取り組むこととしており、今年も、一般社団法人日本自閉症協会をはじめとする関係団体の皆様のご尽力により、世界自閉症啓発デー関連イベントが開催できますことに改めて御礼を申し上げます。

今年は、自閉症をはじめとする発達障害のある皆様の多様性を尊重し、ご家族や地域の皆様がつながり、笑顔でいられる社会を目指して「みんな たいせつ つながる えがお」をキャッチコピーに掲げて啓発活動を進めています。また、発達障害啓発週間には、東京タワーをはじめとする全国各地のランドマークを「癒やし」や「希望」を表す青色でライトアップする「ライト・イット・アップ・ブルー」の開催や、「セサミストリート」のキャラクターで自閉症の特性がある「ジュリア」などを起用した啓発ポスターが全国各地で掲載されます。この他、公式テーマソングである「We Belong わたしたちのうた」や当事者の皆さんからのメッセージをまとめた「メッセージ・イン・ブルー」を公式ウェブサイトで公開しています。たくさんのイベントを通じて、国民の皆様が、自閉症をはじめとする発達障害の理解を深め、共に生きる社会を考えるきっかけになることを期待しています。

厚生労働省においても、各都道府県等に設置されている発達障害者支援センターなどに専門的人材を配置することにより、地域での支援機能の強化を進めています。また、令和7年度からは、これらの地域の支援体制のネットワーク構築を進めるとともに、地域の専門的人材の養成を加速させることで、発達障害のある方々への支援の更なる強化を進めてまいります。

発達障害のある方々の多様性が尊重され、障害の有無に関わらず、共に育ち共に生きる社会の実現に向けて、当事者やご家族の皆様の声をしっかりと伺い、関係府省庁とも連携しながら、引き続き取組を推進してまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年4月2日

厚生労働大臣 福岡 資麿